

組合掲示板

- 3月24日 東京都09春闘要請書提出
- 3月26日 高齢期運動連絡会総会
建交労メーデー実行委員会
- 3月28日 女性部委員会
- 3月31日 ソーシャルサービス協会
東京事業本部役員会
- 4月1日 国鉄闘争勝利4・1集会 争議総行動
首都圏トラック集団交渉 夏期一時金
- 4月3日 四役会議 常任執行委員会
組織拡大推進委員会
- 4月8日 中央メーデー実行委員会
- 4月14日 高齢者部会幹事会
- 4月22日 諸要求実現4・22中央決起集会



労使共同の力で トラック環境改善求め都心をパレード

テレビ東京、新聞各紙が報道

三月一日(日)に東京トラック部会と埼玉トラック部会の主催で車輛四十三台・七十二名の参加で開催されました。トラックパレードは、「雇用を守り賃上げで景気回復を!」「適正運賃收受で中小トラック経営を守る!」など、スローガンの横断幕を張ったトラックが葛西トラクターマイナルを出発し、銀座を通り、中央区浜離宮庭園



沿道、交差点でトラックパレードを激励する建交労のみなさん方です



葛西橋通りから永代通りに入る交差点を右折しているところ。ここから少し先の永代橋を渡って都心に向かう

までパレードを行ないました。パレード出発前に行われた決起集会では、東京トラック部会の三浦部長が挨拶し、規制緩和による過当競争や荷主からの原価を割る値引きなどで低賃金や長時間労働、重大事故を招いている。「労働条件を社会的役割にふさわしい水準に引き上げ、輸送の安全と業界の秩序確立をめざそう」と呼びかけました。また、埼玉トラック部会の奥貫部長からもトラックパレード開催にあたり決意表明が行われました。

【東部江東一般N通信員発】私が勤務しているのは設立約一〇年の不動産会社、マンションの企画・販売をしているいわゆるマンション・デベロップターです。旗揚げから短期間で上場も果たし、社内にも勢いがありました。この業界には珍しく女性も多い会社です。私は住宅ローンや契約の事務を担当していますが、営業ウーマンや女性建築士も数多く活躍しています。産休や育休の取得率も多く、女性が働きやすい企業として雑誌に取り上げられたこともかつてありました。

しかし年が明け、米国のサブプライム・ローンの破綻や建築資材の値上がりなど様々な要因が重なり、次第に社内の雰囲気が変わってしまいました。まず五月に一生懸命頑張ってくれていた派遣の女子社員が、全員契約更新されず切られてしまいました。会社はかなり苦境に立たされていると初めて実感したこの時、いつもランチが一緒だった派遣社員の一人から「次は社員を切るって噂だよ。Nさん気をつけてね」と言われます。そんなことがあ

るのか、と思う間もなく、数日後には私は上司に呼び出されました。職種を代えてもらいたい。そのためあなたにはこの夏から賞与は一切ない。基本給も約六万近く下がる。しかし残業をたくさんすればもつと稼げるはず。悪くない話でしょうか。悪くない話なんて聞かれません。これが噂に聞かれました。私には途方にくれました。結果、建交労に個人で加入しました。

たまに新聞紙面に載っていた解雇、失業のニュースが毎日一面に載るようになった初冬、不自然な人事異動が頻繁に行われるようになっていきます。人事や建築のスキルを積んできた人が、マンション会社や、人によってはモデルルームの掃除担当などに異動。いくらか厳しい状況といっても、こんなやり方では自信をなくしてしまいます。

年末、会社はついに希望退職を募りました。若い社員は何人が応募したのでしょうか。会社も必死の思いで手を上げられない、そう躊躇している30代以上の女性社員の一部には、「他の会社を受けたらどうだ」「もう仕事も席もない」というような退職勧奨も出ています。かつて女性がのびのび活躍できると胸を張っていた会社なのに。

あまり関心を示さなかった同僚に、どんなものか聞かれました。「ポケット労働法」や区労連のリーフレットを読んでもらいたくありません。「大丈夫、一緒に団結すれば道は開ける」、そう呼びかけています。いつ終わるか分からないこの不況、一人で心細くなるよりも仲間がいた方が当たり前ですが心強い筈です。

女性部ニュースより 私の仕事場 組合に相談して リストラされずに済んだ



を合唱し、トラックパレードがスタートしました。途中、沿道から声援や手を振ってもらえるなど注目をされる中、事故も無

く、浜離宮に到着しました。神田支部からも車輛八台、十名が参加しました。同日、このトラックパレードの様子はテレビ二四号より

東京のニュースでも報道され、注目を受けました。(奥貫岳史)

たまに飛び込んできた同業他社の倒産の知らせが頻りに聞かれます。会社も必死の思いで手を上げられない、そう躊躇している30代以上の女性社員の一部には、「他の会社を受けたらどうだ」「もう仕事も席もない」というような退職勧奨も出ています。かつて女性がのびのび活躍できると胸を張っていた会社なのに。

あまり関心を示さなかった同僚に、どんなものか聞かれました。「ポケット労働法」や区労連のリーフレットを読んでもらいたくありません。「大丈夫、一緒に団結すれば道は開ける」、そう呼びかけています。いつ終わるか分からないこの不況、一人で心細くなるよりも仲間がいた方が当たり前ですが心強い筈です。

あまり関心を示さなかった同僚に、どんなものか聞かれました。「ポケット労働法」や区労連のリーフレットを読んでもらいたくありません。「大丈夫、一緒に団結すれば道は開ける」、そう呼びかけています。いつ終わるか分からないこの不況、一人で心細くなるよりも仲間がいた方が当たり前ですが心強い筈です。



港の秩序と適正な料金、安全を守れ

3・6東京港海上デモ

【都本部通信員遠藤晃】まるで台風のような天候の中、初めて海上デモに参加しました。命知らずの参加者は山本顧問を先頭に建交労東京の活動家5名です。デモに先立つての集会では規制緩和後の過当競争による船会社のダンピングで賃金が低下している実態などが報告されました。

港から漁船に乗り移るのも足元が悪く大変です。海上デモがスタートし、船は東京港一帯を周りまわす、カメラで行動中の漁船を狙いますが3回シャッターを切った所でデジタルカメラが雨に濡れて動作しなくなり、しかし機械が動作不良を起こす気象でも逃げ出す訳には行きません。(海上なので逃げられません)カメラは次の日の朝に治りました。労働運動も嵐の後には必ず晴れが来るということを学んだ凍えながら熱いデモでした。写真は遠藤通信員撮影



大海さんが撮影しました。沖縄の米軍海兵隊がグアムに移転する。移転費用もグアムに建てる住宅も日本が負担。基地縮小かと思えばより強大な基地を建設する。辺野古の海で反対の座込みが1800日になろうとしています。沖縄県辺野古の海を米軍新基地にはさせない! 全国学童部会が2月15日沖縄で研究会を開き、引き続き平和ツアーを行いました。建交労雑誌版3月号の1頁に紹介されています。この写真は建交労と雇用創出の運動を始めた宗教者の平田